

## 第4回 環境情報と企業価値に関する検討会

# 情報整理表の作成について

2017/10/31

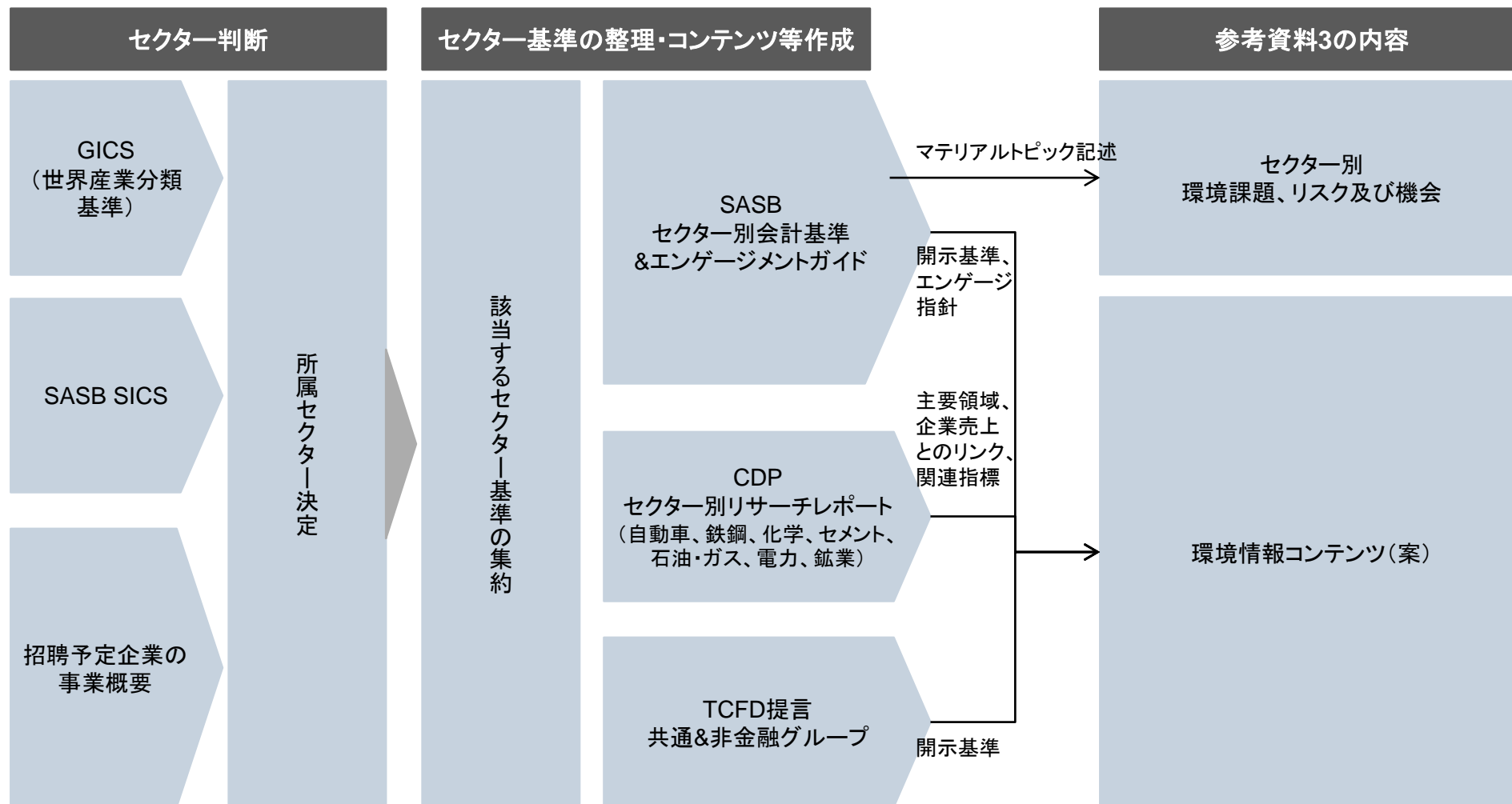
# 企業意見交換会に向けた情報整理に関する認識枠組み

招聘企業が属するセクターについて、第3回でお示した焦点セクター別に、下記の考えで資料の作成を進めました

環境情報の 枠組み項目	共通	セクター別
企業や事業の状況、 課題及びリスク機会認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 情報整理表(案)(参考資料3)に関して、<u>招聘企業の環境課題やリスク機会の認識を確認したり、意見等を引き出す。</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動に関する昨今の重要トピックは何か。</li> <li>● どのような点が、なぜ課題と認識されるのか。</li> <li>● 当該課題に取り組まない(積極的に取り組む)場合、事業にどのような影響が、どのような時間軸のもとで生じると考えられるか。</li> <li>● 成長機会(seeds)に対する視点はどの辺にありそうか。等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 下記のセクター別枠組み基準を追加           <ul style="list-style-type: none"> <li>● SASB Engagement Guidance</li> <li>● CDP</li> <li>● TCFD</li> </ul> </li> </ul>
経営方針・戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>上記認識のもとで考えられる、あるいは既に取り組んでいる経営方針・戦略等の情報を引き出す。</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営としての取組スタンスや計画策定、進捗管理状況。</li> <li>● 組織的に取り組む上での障壁や悩み。</li> <li>● パリ協定を踏まえた長期的なGHG削減目標の必要及びその理由。等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ セクター分類のベースは本資料に後述</li> </ul>
リーダーシップとガバナンス (経営層の関与と管理体制)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ サプライチェーン・マネジメント等の経営・リスク管理体制や、経営層の関与状況等、<u>企業のレジリエンスに関する情報を引き出す。</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 主要な環境課題の特定やそれへの取組方針等を決定する際、組織的にどのようなプロセスを経るか。</li> <li>● 環境目標達成に関するインセンティブ制度の有無。等</li> </ul> </li> </ul>	

作業プロセス	<b>基準の整理</b>	<b>コンテンツの作成</b>	<b>事前送付</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SASBをベースに、CDP、TCFDの基準を交えてセクター別に整理(イメージは第3回検討会 参考資料4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基準の整理結果をもとに、上記思想に基づく素案を作成</li> <li>■ 第5回(11/27)招聘企業の所属セクターを優先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ サンプルを北川座長へ事前送付・ご確認お願い</li> <li>■ 事前に委員へ事前送付・ご確認お願い</li> </ul>
<b>(同時並行)第3章パーツのセクター別リスク機会情報の整理</b>			

# 情報整理表の作成プロセス



# 【参考】今年度の焦点セクターについて

(第3回検討会資料5より・招聘企業についてアップデート)

■ 環境情報と我が国企業の価値向上の両面から焦点セクター6つを決定

■ エネルギーセクターの意見交換は商社又は電力・ガス企業と実施

セクター	産業グループ	産業
○ エネルギー	エネルギー	エネルギー設備・サービス 石油・ガス・消耗燃料
○ 素材	素材	化学 <span style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">検討中</span>
		建設資材 容器・包装 金属・鋳業 紙製品・林産品
○ 資本財・サービス	資本財	航空宇宙・防衛 建設関連製品 建設・土木 電気設備 コングロマリット 機械 商社・流通業 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">三菱商事</span>
	商業・専門サービス	商業サービス・用品 専門サービス
	運輸	航空貨物・物流サービス 旅客航空輸送業 海運業 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">日本郵船</span> 陸運・鉄道 運送インフラ
○ 一般消費財・サービス	自動車・自動車部品	自動車部品 自動車
	耐久消費財・アパレル	家庭用耐久財 レジャー用品 繊維・アパレル・贅沢品
	消費者サービス	ホテル・レストラン・レジャー 各種消費者サービス
	メディア	メディア
	小売	販売 インターネット販売・通信販売 複合小売り <span style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">(イオン)</span> 専門小売り

セクター	産業グループ	産業
○ 生活必需品	食品・生活必需品小売り	<del>食品・生活必需品小売り</del> <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">イオン</span> <del>飲料</del> <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">アサヒHD</span>
	食品・飲料・タバコ	食品 タバコ
	家庭用品・パーソナル用品	家庭用品 パーソナル用品
ヘルスケア	ヘルスケア機器・サービス	ヘルスケア機器・用品 ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス ヘルスケア・テクノロジー
	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	バイオテクノロジー 医薬品 ライフサイエンス・ツール/サービス
○ 情報技術	ソフトウェア・サービス	インターネットソフトウェア・サービス 情報技術サービス ソフトウェア
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	通信機器 コンピュータ・周辺機器 電子装置・機器・部品 <span style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">オムロン コニカミノルタ</span>
	半導体・半導体製造装置	半導体・半導体製造装置
電気通信サービス	電気通信サービス	各種電気通信サービス 無線通信サービス
公益事業	公益事業	電力 ガス <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">大阪ガス</span> 総合公益事業 水道 独立系発電事業者・エネルギー販売業者
金融	銀行	銀行 貯蓄・抵当・不動産金融
	各種金融	各種金融サービス 消費者金融 資本市場 モーゲージ不動産投資信託(REIT)
	保険	保険
不動産	不動産	エクイティ不動産投資信託(REITs) 不動産管理・開発

(出所) GICS (世界産業分類基準) (<https://www.msci.com/gics>)、2016年9月1日発効版GICS公式日本語訳より作成。GICSは、MSCIおよびスタンダード&プアーズが開発した業種分類。CDPでも使用されている(ただし、金融と不動産のセクターは統合されている)。

# 【参考】SASB マテリアリティ・マップ(環境)

セクター(大分類)	ヘルスケア	金融	技術・通信	非再生可能資源	運輸	サービス	資源転換	消費財	再生可能資源・代替エネルギー	インフラストラクチャー
産業(小分類)	バイオテクノロジー、医薬品、医療機器・用品 医療介護供給、管理医療、医療介護流通	市中銀行、投資銀行業務&仲介業務、アセットマネジメント&保管活動、抵当権融資、保険	ハードウェア、電子機器受託製造サービス&オリジナル設計製造、セミコンダクターソフトウェア&ITサービス、インターネットメディア&サービス、電気通信	探査&生産、石炭作業、金属&採鉱 精製&マーケティング、鉄鋼生産者、建材中間、サービス	自動車、自動車部品 自動車レンタル&リース、航空会社、空輸&ロジスティクス、海上輸送、鉄道輸送、道路輸送	ホテル&宿泊施設、カジノ&賭博、レストラン、レジャー施設、船旅会社、ケーブル&衛星	化学、航空宇宙・防衛、電気電子機器、産業用機器・器具、容器包装	農産物、肉、家禽&酪農加工食品、非アルコール飲料、アルコール飲料、家庭・個人用品 アパレル、アクセサリ&履物、建材及び家具、電化製品製造 食品小売&流通、薬小売&コンビニ、マルチライン及び専門小売&流通、Eコマース	林業・伐採 バイオ燃料、太陽エネルギー、風力エネルギー、燃料電池&産業電池、パルプ&紙製品	電力事業、ガス事業、水道事業、廃棄物処理事業 エンジニアリング&建設 サービス、住宅建設業、不動産所有者・ディベロッパー・投資信託業、不動産サービス業
課題										
環境										
GHG排出量			○	●	●	○	○	○	○	○
大気質				●	●	○	○	○	○	○
エネルギー管理	●		●	○	○	●	●	●	●	○
燃料管理	○			○	●	○		○		○
水及び排水管理	●		●	●	○	○	○	○	●	●
廃棄物及び有害物質管理	●		○	●	○	○	●	○	○	○
生物多様性影響				●	○	○	○	○	●	○
ビジネスモデル及びイノベーション										
製品及びサービスのライフサイクルへの影響	●	●	●	○	○	○	●	○	●	●
資産および操業に対する環境、社会的影響	○	○		○		○		○	○	●
製品パッケージ	○					○	○	○		
製品の品質と安全性	●				○	○	●	●		
リーダーシップ及びガバナンス										
システミックリスク管理		●	○			○				○
事故及び安全管理				○	●	○	○		○	○
事業倫理及び支払の透明性	●	●		○	○	○	○			○
競争的行為		○	●	○	○	○	○			○
規制の把握と政治的影響				○		○	○	○	○	○
材料調達	○		●	○	○		●	○	●	
サプライチェーンマネジメント	●		○	○	○	○	○	●	○	

(凡例) ●:セクター内でその課題が重要な産業が5割以上  
○:セクター内でその課題が重要な産業が5割以下  
無印:そのセクターにとって重要課題ではない

(出所) SASBウェブサイト(<http://materiality.sasb.org/>) (2017年9月時点)より三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成。© 2017 SASB™ Materiality Map™